

春から研修医となります。コロナ渦でいつも通りできるのか不安もありますが、
できることを積極的にやって確実に力を付け、少しでも信頼してもらえるような人間になります。
今までは、学生として医療現場で実習してきましたが、
これからは研修医としてではありませんが、医療行為を行うようになります。
責任が大きくなりますが、自宅での学習や練習、現場での経験を通じて、
技術を身に付けていきたいと考えています。
また、医師は患者さんとの接し方が大事だと考えているので、
医師としての基礎を、そして心を身に付け、
後期研修医、専門医へ繋げていけるよう頑張ります。
一人でも多くの患者さん、またそのご家族の笑顔が見られるように励んでまいります。

大学生時代は時間や心にゆとりが生まれ、自分自身を見つめ直したり、
他の人を客観的にみられるようになりました。高校生時代にも感じていたことではありますが、
暗記力や頭の回転など自分では敵わないと感じる人が周囲にいて、圧倒されました。
しかし、塾で「結果を気にせず、自分の力を100%出すことに集中すること」、
そして「何のために学ぶのか、学びの先になにがあるのか」と教えてもらっていたので、
焦ることなくいろいろなことに取り組みました。
学生という立場ではありますが、病院に出させてもらい、
事故にあわれた方や病気で生死に関わるような方への治療の場面に直面し、
今後私が行っていくことの責任ややりがいを学びました。

「学志舎での思い出」

リレーマラソンに参加したり、徹夜の勉強会をしたり、地域のボランティア清掃をしたりと
他の塾や予備校にはないイベントで、他の塾生やコーチの方々や仲良く勉強ができたことが思い出です。
一方で、受験期にはコーチからの熱心な指導とともに、自習室で夜遅くまで同期と一生懸命勉強できたことが心に残っています。
普通の予備校へ行っていれば受験に向けた勉強だけをやることになると思います。
受験だけを考えれば、それが近道であるかもしれません。しかし私にとって学志舎とは、
その後の大学で学ぶことや、就職に向けて…言葉では簡単には表せませんが、とても大切なことを学んだ場所でした。

卒業生 山本 大慈 富山大学医学部 6年

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。
「コーチ・coach」とは「馬車」の意。
ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。



難問を解説

大慈君、もうすぐ卒業だね。おめでとう！初めて会ったときのことを覚えていますか。
緊張していたのかな、私の印象では物静かな子だなと思っていました。
しかし課題に対しても真面目に取り組み、黙々とこなしていましたね。
その後、徐々に学校のことや家族のことなど色々話をしてくれるようになりました。
私も君にいろんな話をしましたよね。私にとってそれが良き思い出となっています。
たくさん悩んで苦勞して、医学部に合格した大慈君が、もうすぐ研修医になると聞き、
担当コーチとして先輩として大変嬉しく思っています。いつかまたここで、
笑顔で楽しく思い出話や仕事の話ができるといいなと思っています。
なかなか厳しい仕事ですが、お互い頑張りましょう。
希望だった脳外科医として、人生を賭して患者さんのために生きてください。

担当コーチ 安藤涼花 岐阜県 内科医



学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索